

当新田環境センター余熱利用施設整備・運営 PFI 事業に係る 優先交渉権者の提案概要について

【施設の特徴】

施設規模等：鉄骨造 2 階建。建築延床面積 3,306 m²、建築面積 2,341 m²

無料駐車場 170 台（身障者用 2 台含む）、大型 2 台

プール棟の南面には大きなガラス面を設け、アプローチ道路に向けて建物の正面性を演出するとしている。

ロビー、ラウンジ、見学コーナー、休憩コーナーに加え、屋外ジャグジー、露天風呂、中庭の有効活用等の「たまり場」を充実させることにより、地域住民のコミュニケーション促進の助けとなるよう配慮するとしている。

鉄骨造の採用により軽量化を図り、経済的に屋内プールに供する大空間を確保しているとしている。特に、開放感を要求されるプール部分においては、V型の柱を使用するなどデザインと一体となった耐震要素を計画するとしている。

環境センターからの余熱を蒸気タービン発電機の設置により施設内電力に利用し、さらに余熱を暖房、給湯、加温に利用することで、エネルギーの有効利用を図るとともにランニングコスト低減を図るとしている。

プールの過剰な逆洗水及び雨水を雑用水として再利用するとしている。

【運営の特徴】

利用者の意見等によりニーズを把握し、プール、スタジオ共それぞれ週 50 本以上のプログラムを 3 ヶ月に 1 回の割合でリニューアルしていくこととしている。

フリー利用を前提に、利用時間帯を考慮したプログラムを編成することとしている。